

事例名称	浜松医科大学エネルギーセンターESCO事業
ESCO事業者	高砂熱学工業(株)、日本開発興産(株)

設備概要	契約電力	3,600kW	空調設備	高効率ターボ、空冷ヒートポンプモジュールチラー
	棟数	7棟	冷凍容量	総容量2,980Rt
	延床面積	100,570㎡	加熱容量	総容量7,150kW
	受電電圧	70kV	空調方法	空調機、ファンコイル

省エネルギー手法

高効率熱源システムの導入	高効率ターボ冷凍機と空冷ヒートポンプチラーによる高効率運転
供給ポンプ変流量制御	蓄熱槽放熱配管系統のクローズ化とポンプのインバータ化
蒸気バルブの断熱強化	蒸気バルブ等の保温箇所追加

- ファイナンス** ESCO事業者の資金
- 支援策の利用** エネルギー供給事業者主導型省エネルギー連携推進導入事業 (NEDO)
- 契約方式と契約期間** シェアード・セイビングス契約 10年+5年(再契約)

使用した省エネ関連機器例



施主受益(セールスポイント)

エネルギー消費量、CO₂排出量が大幅に削減できること。CO₂排出量削減による国内クレジット制度事業にも申請中です。(節約効果の実測結果は、現在検証中)

施主コメント

熱源設備においては経年劣化によりエネルギー効率が低下しており、省エネルギー化と維持管理費の低減のために民間の資金・ノウハウを活用するESCO事業を活用しました。熱源設備は既存熱源とESCO導入設備の併用となっており、今後も更なる省エネルギーに取り組んでいきたいと考えます。

導入時の問題点とその解決策

補助金交付決定からESCO契約までの期間が短く、工事着手が遅れてしまうことが問題としてありましたが、事前に学内での調整等を進めていただき補助金のスケジュールに合わせて完了することができました。

